

踏み跡 <My Mountains>

御坂	精進湖から三方分山とパノラマ台	No.295
----	-----------------	--------

ユニシス山中湖マラソンの帰り道での山歩きはもう何回ぐらいになるだろうか。今回は御坂山塊の西端に近い精進湖をとり囲む稜線、三方分山・パノラマ台・烏帽子岳。天気良ければ最高の富士見が楽しめる筈。例年に比して二週間位遅い山中湖マラソン大会なので、山歩きにとっては好都合かもしれない。



平成10年11月8日
山中湖寮で朝食後解散。セブンイレブンで食糧を調達して8時半に出発。富士山は勿論のこと見えるべき山はすべてきれいに見える、極上の快晴。
精進湖入口9時半。精進湖への分岐点付近の空き地に車を停めて身支度。頭上をトンビが旋回して、上空の風を楽しんでいる。9時40分に出発。
精進(湖の北端の集落)10時14分。快晴の強い日差しで暑くてたまらず、11月なのに半袖Tシャツに変身。谷沿いに女坂峠へ上がる道はその昔「中道往還」と呼ばれ、甲府と駿府を最短距離で結ぶルートとして造られたものらしい。水の流れに沿って続く家並みの中を一本の道が山に向かって少しずつ登っている。何かを感じさせる味わいのある山道だ。家並みが途絶えると適度な明るさの雑木林の山道になり、さしたる苦痛を味わうこともなく峠に近付いて行く。女坂峠11時03分。峠の北側の坂は女坂と名が付いている。その昔この峠路を越えようとしていた身重の女官がこの急坂で産気づいて出産したが、母子ともに命を絶えてしまった。後に子抱き地蔵を建てて供養したことからこの名が付いたらしい。

峠から西へひと登りで三方分山(さんぼうぶんざん: 1422m)。11時37分、昼食には少々早い。静かな峠路を楽しんできたが、この頂は四組ほどのパーティが休んでいて少々うるさい。しかも樹間に富士を見る程度の眺めなので休んでもつまらないので通過する。

南東に少し進んで、精進山(1409m)で昼休みとする。11時45分、三角点から少々南へ下った所に格好の日だまりを見つけて昼食。丁寧に梱包して運んできた缶ビールを美味しく感じる快晴の日差し。昼食の後は勿論昼寝。ゆっくり食休みをとって12時39分に出発。

精進峠に下った後再び登りが始まり、パノラマ台(1328m)に到着13時52分。「パノラマ台」という名前は今日的でバター臭くてあまり好きではないが我慢して景色を楽しむことにした。勿論正面には薄く雪化粧した富士山、北東に御坂山塊の連山が、西に遠く南アルプス、地図上で想像した通りの眺めが連なる。しかも本栖湖・精進湖・西湖・河口湖と富士五湖の内山中湖以外は一望できる。このリッチな眺めを楽しまなければ勿体ない。たっぷりと楽しんだ後写真撮影。



(左写真: パノラマ台からの富士)

そしておまけの「二度目の昼寝」。15時18分に出発。

烏帽子岳(1257.4m)から本栖湖へ下り、本栖から「東海自然歩道」と示された林の中の道を歩いて精進湖入口に16時50分に到着。もう陽が当たらない時間ゆえ寒い、寒い。

てきぱきと着替えて17時02分に出発。国道139号線を走りながら夕暮れの紅色に染まる富士山を楽しんでドライブ。ところがなんと鳴沢から渋滞が始まってしまった。道路交通情報を聞いてみると、中央自動車道の大渋滞がからんでいるらしい。こういう場合は早目の判断が大事、山伏峠を越えて道志みち経由で帰ることにした。山中湖湖畔を18時30分に通過、相原・八王子バイパス経由で八王子ICから中央自動車道に入ったら、これ以降はスムーズで、自宅帰着は22時ちょうどだった。

以上